

ROBOCON IN 信州

駒工が特別賞で全国へ

下諏訪

県内の工業高校生が自作ロボット
の性能を競う「ROBOCON(ロボコン)IN
信州」(同実行委員会など主催)が1日、下諏訪町の下諏訪
体育館であった。競技4部



門に10校から計73チームが出
場し、工夫を凝らしたロボッ
た。

競技はインテリジェント・

競技で出場を決めた「駒工C-A」チーム

↑ トで正確な動きや速さを競った。キャリアロボットの部は、駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)が特別賞を受賞し、全国大会への出場を決めた。

カーレース(自走)、相撲、マイコンカーラリーなど。このうち全国大会(10月20、21日、山口県)につながるキャリアの部には14チームが出場した。リモコンで操作するロボットと、センサーを内蔵した自立型ロボットの2台を使い、開催県特産のフグに見立てたメガホンを運搬したり、錦帯橋をモチーフにした橋を渡ったりして、高得点を目指した。(小山真由美)

上伊那関係の結果は次の通り。
「キャリアロボット」▽特別賞||駒ヶ根工C-A(那須野拓海、岸本拓巳、山上佑大、伊藤稔明、細井和真)

「マイコンカーラリー」◇アドバンスド①駒ヶ根工MAG(河内建次郎)②駒ヶ根工MAIC(久保村将希)③駒ヶ根工MAA(小池寿晏)▽アイデア賞||駒ヶ根工MAA(小池寿晏)▽特別賞||駒ヶ根工MAH(牧田敏明)